

## 平成30年度 第3回射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会（議事録）

日時 平成31年2月20日（水）午後2時30分～3時00分

会場 射水市役所2階 202会議室

### ○議題

#### （1）認知症初期集中支援事業の進捗状況と今後の方向性について 資料説明（事務局）

##### 【意見交換】

・相談者の内訳はほとんどが地域包括支援センターとなっているが、包括が自ら見つけてきたケースなのか。ケアマネジャー・地域・家族から相談を受けたケースなのか。

→相談者の内訳は、包括が見つけてきたケースではなく、家族・地域・ケアマネジャーなど相談者から、包括へ相談があり市へも相談があったケースである。

・今の認知症初期集中支援チームはまだ掘り起こしの段階であり、サポート医はまだ十分に活躍できていない状況である。射水市医師会としては、ホームページに認知症のコラムを載せたり、公開講座を実施する等、地域へ認知症の普及啓発が必要であると感じている。

・認知症の人が医院を受診されても、医師が認知症に気づかない場合がある。認知症の人は話を合わせるのがうまいからである。別居の家族が、認知症である本人の状態に気づかず相談に繋がらない場合があるのも理解できる。そこで、認知症に対応できるサポーターを増やす、家族が本人の状態に早めに気づき相談に行けるよう、気づきを促す普及啓発をすることが大切である。

・認知症初期集中支援チームは、どこまで支援をするのか、事務局で原案を立てて提示してほしい。ゴールが見えないとモチベーションがあがらない。個人的には、受診をゴールとするのではなく、受診後2か月後まで等とゴールを決めておき、治療した結果どうなったかを評価していく必要があると思う。それがチームの目標となるのではないか。

・今後、本人や周囲の人が認知症に気づき、相談することができる体制を作る、認知症に対応できるサポーターを増やす、普及啓発をすることが大事ではないかと考える。



平成30年度 第3回射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会 次第

日時 平成31年2月20日(水)

午後2時30分～3時

会場 射水市役所 2階 202会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 認知症初期集中支援事業の進捗状況と今後の方向性について (資料1)

3 閉 会



## 認知症初期集中支援事業の進捗状況と今後の方向性

## 1 認知症初期集中支援事業に関する普及啓発

## (1) 地域住民への普及啓発

- ・認知症に関するパネル展示と認知症相談会：12月2日在宅医療と介護を考える市民公開講座
- ・脳いきいき健康講座：42団体、約900名
- ・認知症サポーター養成講座：27団体、約800名

(新) 個人向け3月6日・8日実施予定

## 2 認知症初期集中支援チーム員の研修等 (H30.10月～H31.1月末)

## (1) 認知症初期集中支援チーム全体会議

月日	会場	出席者	内容等
H30年12月13日(木) 19:30～20:40	射水市役所 201会議室	認知症サポート 医5名 認知症地域支援 推進員5名 地域包括支援セ ンター職員5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度チームの支援状況報告</li> <li>・チームの活動に関する課題と対応</li> <li>・意見交換「1年を振り返って、認知症初期集中支援チームについて思うこと」</li> </ul>

## (2) 認知症地域支援推進員の研修

月日	会場	出席者	内容等
毎月第2金曜日 認知症地域支援推進 員部会	射水市役所 会議室	認知症地域支援 推進員5名 地域包括支援セ ンター職員 3～5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの活動に関する課題の検討</li> <li>・認知症の普及啓発等についての検討</li> <li>・認知症の事例検討</li> <li>・研修報告 等</li> </ul>
H30年10月29～30日 H30年12月13～14日	大阪府 東京都	地域包括支援セ ンター3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症地域支援推進員研修(現任者)</li> </ul>

(3) 認知症初期集中支援チーム員の研修

月日	会場	出席者	内容等
H30年12月22～23日	東京都	地域包括支援センター3名	・国立長寿医療研究センター主催の研修
H31年1月24日(木) 19:00～20:20	浦山学園 USP 2階会議室	認知症サポート医4名 認知症地域支援推進員3名 地域包括支援センター5名	講義「認知症診療におけるかかりつけ医の守備範囲」 講師：柏原脳外科クリニック 院長 柏原 謙悟 先生

3 認知症に関する相談状況

(1) 地域包括支援センターへの認知症に関する相談件数(延べ件数)

	29年度 (H29.4月～H30.3月)	30年度 (H30.4月～H30.12月)
新湊西地域包括支援センター	268件	175件
新湊東地域包括支援センター	231件	175件
小杉・下包括支援センター	206件	263件
小杉南地域包括支援センター	131件	210件
大門・大島地域包括支援センター	296件	232件
計	1,132件	1,055件

(2) 地域福祉課への認知症に関する相談件数

	29年度 (H29.6月～30.3月末)		30年度 (H30.4月～12月末)	
	実人数	延件数	実人数	延件数
地域包括支援センター等から	32人	44件	37人	56件
住民から	23人	23件	30人	30件
計	55人	67件	67人	86件

4 認知症初期集中支援チームの支援状況

(1) 認知症初期集中支援チームへの相談後の支援状況 (H31. 2. 7 現在)

	チームへの 相談	チーム 支援 対象者	支援状況		チーム 支援 対象外
			チーム 支援 継続者	初回訪問 のみ実施	
29年度 (H29. 6月～30. 3月末)	16人	10人	7人	3人	6人
30年度 (H30. 4月～31. 2. 7)	18人	9人	5人	4人	9人

(2) 認知症初期集中支援チーム支援継続者の支援状況 (H31. 2. 7 現在)

	支援継続者	支援終了者	支援者
29年度 (H29. 6月～30. 3月末)	7人	7人	0人
30年度 (H30. 4月～31. 2. 7)	5人	0人	5人

## 5 認知症初期集中支援チームの支援状況と今後の方向性

12月13日 認知症初期集中支援チーム全体会議での意見交換を実施して

	支援状況	今後の方向性
相談時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民からの相談は、初期ではなく、家族が対応困難となったあとが多く、対応が難しくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期の段階での相談の必要性を出前講座等を通して、普及啓発していく。</li> </ul>
相談者の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括への相談は地域からの件数が増加している。</li> <li>・ケアマネジャーは対応に苦慮するケースを抱えている。対応が十分にされていない状況がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連絡をとり、住民で気になる方を相談いただくよう啓発を強化する。</li> <li>・ケアマネジャーに対し、認知症事例の相談先として、認知症初期集中支援チームや包括があることを周知する。</li> </ul>
新規対象者について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診に来ない人など相談者の掘り起こしが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査で、気になるケースを相談に繋げていく。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの方向性を考えていく必要があるが、ケースを対応しないと数値として評価ができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース支援を実施、評価していく。</li> <li>・チームの今後の方向性について検討していく。</li> </ul>